

令和3年度 片倉三枚地域ケアプラザPDCAシート_公表用
 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状

神大寺地区	・人口 13,349人(2020/9現在) ・14歳以下 1,427人 65歳以上 3,554人 75歳以上 1,748人 高齢化率 26.6%
片倉地区	・人口 13,714人(2020/9現在) ・14歳以下 1,807人 65歳以上 2,964人 75歳以上 1,621人 高齢化率 21.6%
三枚地区	・人口 5,295人(2019/9現在) ・14歳以下 822人 65歳以上 982人 75歳以上 435人 高齢化率 18.5%

【神大寺】

戸建てと集合住宅が広がる住宅地です。夏祭り・秋祭り・餅つき大会の開催や防災訓練など、各町内会の活動は活発に行われています。高齢化率は26%で高めですが、高齢者サロンが立ち上がるなど、身近な場所での支えあい活動が増えています。

【片倉】

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地です。戸建てが多いのですが、集合住宅も散在しています。地域福祉保健計画の地区推進会議を年3回以上開催するなど、福祉活動への理解と行動がある地域で、ふれあい活動見守り、子どもの居場所などを熱心に行っています。

【三枚】

農地が多く残るエリアで、街から農を繋ぐ場所に位置しています。大きくは農の上町エリア、街の下町エリアに分けられると思いますが、2町会の住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、グランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀、食事会など自治会、シニアクラブを中心に活発に行われています。また、年少人口の増加に伴う子供会の活動も増えているという地域です。3地区内で唯一高齢化率が前年より下がっています。

今後の方向性

3地区ともに住民活動が活発な地域であるので、困った際に頼っていただける距離感を大事にしながら、地域の活動を後押ししていきたいと考えております。またケアプラザは高齢者だけでなく全世代を対象にしているというアピールを地域と協働で進めていきたいと考えております。

【神大寺】

小学校が3校あるものの中学校区が違うなどのあるため、連携に苦慮することはあると思いますが、子どもの居場所などの取り組みを進めていきたいと考えています。

【片倉】

駅近ということもあり、新しいマンション等への若い世代の転入も多く、多世代が参加できる取り組みが求められます。

【三枚】

新駅の羽沢横浜国大から比較的近く、今後、新住民が増加すると考えられるため、自治会未加入者へのアプローチや若い子育て世代の地域への参画が肝となる地域と思われる。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5職種会議などで地域の情報を共有し、新型コロナウイルス感染拡大の状況に合わせた方法で介護予防講座を開催していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	片倉・神大寺・三枚町の地区社会福祉協議会と主任児童員の方で話し合う協議体「神ちゃん家」で、引き続き、学校や子ども達について情報交換をします。近隣の小学校の先生に協力頂き、子どもやその親の困りごとを共有し、地域・学校の関係づくりをより強くします。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	住民主体の連絡会や定例会に出向き、そこで得た情報やニーズを地域アセスメントシートに反映し、ケアプラザ内のコーディネーターと地域包括支援センター職員と内容を共有します。

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>区役所・社協・区内社会福祉士連絡会で連携し、ライフデザインノートの普及啓発を行います。地域ニーズに合わせ、出張講座など他職種と協働し実施していきます。</p>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>ケアマネジャーが民生委員や地域の関係機関と連携がとれるように、ケア関係者向けの勉強会等の機会をとらえて民生委員の活動や地域の活動を紹介していきます。</p>

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【各項目の振り返り】

【全体を通して】

区からのコメント

令和3年度横浜市片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予防支援計画の委託に関しては、ご利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようにします。 ■ あらゆる対立する関係からの中立を保つよう心掛け、偏って支援することが無いように、職員研修等を通じて学んでいきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスクマネジメント活動を通じて、事故対策を行い、可能な限り、ルール化していく活動を行います。 ■ 個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所への施錠、送付する場合のダブルチェック体制などに努めます。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。 ■ 利用者本人自らが計画作成に参画して、腹に落ちた計画を作成することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 常勤換算で利用者件数30名以上の達成。 ■ 毎週の会議開催による情報共有。 ■ ケアマネジャー増員による相談対応力強化。 ■ R3改正を踏まえた運営。
利用料金・実費負担	原則として本人負担はありません。 保険料未納等がある場合は下記額の1～3割が自己負担となります。 要支援1・2 4,870円	原則として本人負担はありません。 保険料未納等がある場合は下記額の1～3割が自己負担となります。 要介護1・2 11,965円 要介護3～5 15,545円
職員体制	看護師1名、主任介護支援専門員2名、社会福祉士1名、介護支援専門員1名 計5名(2021.4.1現在)	主任介護支援専門員1名(常勤・管理者) 介護支援専門員(常勤2名、非常勤2名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	ご利用者の「出来る事」が継続し、「やりたい事」が増やせ、在宅生活が続けられるような、生活を意識した生活支援を行います。	「自分で決める自分のことを」をスローガンに、地域生活の継続を援助します。	実施していません
実施体制	【実施日数】 週6日(月～土) 第1号・介護予防は週5日(月～金) 【提供時間】 9:30～16:30 第1号・介護予防は9:30～13:30 【定員】 通所 38名	【実施日数】 週6日(月～土) 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 12名	
利用料金・実費負担	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	介護報酬告示上の額 実費分 食費810円/個別活動費 実費	
職員体制	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業		■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組みが求められる事業	1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児	
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者	
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)		7: その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期
1	折り紙サロン	H23	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢者を対象に、手をつかった作業を通して仲間づくりのきっかけをつくる。	1: 高齢者	5: 地域	毎月第2・3木曜日 14:00~15:30 参加者と相談しながら季節のものやキャラクターの折り紙のお題を決め、参加者同士で楽しむ。高齢者の気軽なケアプラザ利用のきっかけとなる講座。
2	ティールームもくせい	H15	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域作業所「もくせい」の協力を得てサロンを開く。地域の方が気軽に外出し、おなじみの方と交流できる場とする。また、地域作業所に従事する障害者の方と地域住民交流、地域作業所への理解の機会とする。	5: 地域	5: 地域	毎月第4火曜日 13:00~14:00 多目的ホールにて地域作業所「もくせい」が提供するコーヒーやパンを食べつつ、他者と交流したり自由に寛いで頂く。「アトリエもくせい」のさをり織りの商品も展示・販売。
3	かなプラ子育て応援タイム	H21	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	乳幼児のその親向けの講座。育児中のちょっとした休憩や学びの機会とする。集まった親子がお互い交流し、悩みや不安を話し合い仲間づくりのきっかけとする。	3: 養育者及び乳幼児	7: その他	年3回実施。親子ふれあい遊び(2回)、クリスマス会を予定。講師は近隣の自主子育てグループのお母さんや保育園の職員の方。
4	医療と介護のピアミーティング	H27	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	・医療と介護をめぐる横断的なテーマについて話し合うことにより医療と介護の相互理解の促進を図る。 ・地域のケア関係者の顔の見える関係の構築	6: 事業者	5: 地域	・地域のクリニックの医師と参加者とのテーマを決めた意見交換 開催時期 未定。
5	民生委員さん向け「介護保険を知ろう ミニ講座」	H31	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	民生委員の皆さんに介護保険や介護サービスに対する理解を深めて頂き、支援を必要とする高齢者が制度につながりやすい環境をつくるために民生協の時間をお借りして	5: 地域		短い時間でテーマを絞ってミニ講座を行う。年度内、2回程度予定。
6	地域のケアマネジャー向け事例検討会	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域で活動するケアマネジャーがそれぞれの抱える事例の課題を共有し意見交換することで、個々のケアマネジャーの課題解決力、ケース対応力を高める。	6: 事業者		ケアプラザ協力医、神奈川区医療連携拠点、地域のケアマネジャーによる事例検討会。
7	市民公開講座「人生会議って何？」	R3	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民にACPを巡る現状や考え方を知ってもらう。	5: 地域	5: 地域	ケアプラザ協力医 赤羽先生による講演会。11月に予定。
8	健康ひろば(介護予防講座)	R2	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1: 高齢者	1: 高齢者	年間3回程度開予定。
9	高齢者住宅ヒルズ神大寺おもしろいやり会	H28	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、ミニ講座開催や身近なテーマで話し合う場を設け様々な情報を提供し、自立した生活を支援していく、自助・共助の力を養う。	1: 高齢者	1: 高齢者	毎月第4木曜日 14:00~15:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
10	高齢者住宅グリーンピア倉交流会	H28	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣との助け合いを構築する。 民生委員や地域の専門機関と連携を図り、地域社会との関わりを増やす。	1: 高齢者	1: 高齢者	毎月第3月曜日 10:30~12:00 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
11	高齢者住宅スクエアワンサロン	H31	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣との助け合いを構築する。 民生委員や地域の専門機関と連携を図り、地域社会との関わりを増やす。	1: 高齢者	1: 高齢者	不定期開催 10:00~11:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
12	サロン交流会	R2	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	集いの場の様々な問題・課題を解決に繋げるため、連絡会を発。お互いに情報交換をすることにより地域活性化を目指す。	5: 地域	5: 地域	3月予定 地域の集いの場の代表者などに参加していただき、情報交換の場を設ける。
13	いろば茶屋	H30	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めていく。	5: 地域	5: 地域	毎月第2土曜日 13:00~14:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や移動支援、傾聴を行っている。開催時間中は、包括職員が常駐し、総合相談に対応している。
14	地域サロンそんぼの家	H29	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	コロナ禍において、外出の機会が失われた地域住民の定期的な外出の機会をつくり、住民同士の関係性を深める目的。 また、外との交流が無くなった有料老人ホーム利用者とのWEBを活用した交流も行う。	5: 地域	5: 地域	毎月第1木曜日 13:30~15:00 地域住民の交流の場としての取組。施設の駐車場を借りて、世代を問わず誰でも参加でき、地域住民や施設利用者との関係性づくりの場 共催: 神大寺地区社会福祉協議会 そんぼの家横浜神大寺 神大寺地区民生委員児童委員協議会
15	ロバメイトフェスティバル	H30	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	・「認知症にやさしい地域づくり」のために、広く地域に向けて認知症の啓発を行う。 ・認知症サポーター養成講座を受講したボランティア(=ロバメイト)の活躍の場として開催する。	5: 地域	5: 地域	認知症サポーター養成講座、パネル展示、情報コーナーの設置等(予定)様々な手法を組み合わせて、特に子どもたちや若い親世代をターゲットに認知症の啓発を行う。 9月実施予定

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
16	ロバメイト交流会	H31	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症サポーター養成講座を受講してボランティア登録をくださった方（＝ロバメイト）と見守り協力店、民生委員が集い交流することにより、地域の認知症サポートの担い手としての意識を継続的に醸成する。	5：地域	5：地域	地域で認知症普及啓発や認知症ケアの活動する方を招いての講義「地域で認知症の方を支えるためにできること、グループワーク、茶話会、交流会
17	リモート認知症カフェ	R3	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	リモート認知症カフェとして認知症の方やそのご家族・支援者の居場所づくり	5：地域	5：地域	不定期開催 認知症キャラバンメイトの活躍の場。 ZOOMを活用し、出向がなくても繋がれることを体験していただく。
18	介護者のつどい	H29	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護をしている方、気軽につどえる居場所を提供する。 講座を設け、介護に必要な情報を得る場を作る。 講座後に茶話会を実施し、互いの情報交換の場、語り合う場を作る。 介護者のストレスや孤独感の緩和を目的とする。	5：地域	5：地域	5月より基本的各月第4土曜日に実施（8月と1月のみお休み）開催時間は1時間 毎回、茶話会を中心とした内容。 ニーズに応じ講座を設ける。この際30分程度の講座、30分程度の茶話会を行う。 実施方法はZOOM開催、実際に集まっての開催を行う。
19	司法書士の無料相談会	H23	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。 ・相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域	6：事業者	司法書士による1組30分での無料相談を行う。 主催：神奈川区包括支援センター連絡会 神奈川区社会福祉協議会
20	行政書士の無料相談会	H23	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	・地域住民が気軽に法律の専門家による相談を受けることができる。 ・相談者が抱える問題の解決につなげられる。	5：地域	6：事業者	行政書士による1組30分での無料相談を行う。 主催：神奈川区包括支援センター連絡会 神奈川区社会福祉協議会
21	エンディングノート啓発事業	H31	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	神奈川県版のエンディングノート完成に伴い、その啓発を社会福祉士連絡会として実施していく。自らの権利を守るために備えが必要であり、大切であることを伝え、その支援をする。	5：地域	5：地域	普段講座開催とは別にZOOMを使用した開催の工夫を加え普及活動を行う。 開催回数2年2、3回の実施 実施方法はZOOM開催若しくは、実際に集まっての開催を行う。
22	民生委員、情報共有会	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	民生委員より挙がるニーズに応え勉強会や講座を行い、学びの場を作る。民生委員のスキルアップを目的とする。	5：地域	6：事業者	民生委員よりニーズを受け勉強会や講座を行う。 年2、3回の実施 講師を呼び、実施方法はZOOM開催、実際に集まっての柔軟な開催を行う。
23	認知症サポーター養成講座	H19	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	参加者が認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法について学ぶことで、地域で認知症の人とその家族を温かく見守り、できる範囲で支援できるようにしていく。既にサポーター登録している方のスキルアップを目的とする。	5：地域	5：地域	地域のニーズに応じて、または、企画して講座を実施。地域のキャラバンメイトと協力して講座を行っていく。 （認知症の講話・寸劇・映画上映・認知症サポーターについての説明等）
24	成年後見制度の講座	H31	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	後見申し立て数が多い地域ニーズに対応する為、地域住民や事業者が成年後見制度や、これに関わる制度の理解が出来ることで、困難化される以前の軽度状態での問題の把握、表出を目的とする。	5：地域	6：事業者	地域住民のニーズを受け勉強会や講座を行う。 年2、3回の実施 講師を呼び、実施方法はZOOM開催若しくは、実際に集まっての開催を行う。

令和3年度「横浜市片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,226,256		17,226,256		17,226,256	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	3,273,744		3,273,744		3,273,744	
収入合計	20,500,000	0	20,500,000	0	20,500,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	0	11,313,000	
本俸	11,313,000		11,313,000		11,313,000	
社会保険料	0		0		0	
手当計	0		0		0	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	0		0		0	
事務費	1,058,000	0	1,058,000	0	1,058,000	
旅費	0		0		0	
消耗品費	1,058,000		1,058,000		1,058,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	0		0		0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	292,000	0	292,000	0	292,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	250,000		250,000		250,000	
その他	0		0		0	
管理費	6,459,960	0	6,459,960	0	6,459,960	
光熱水費	0		0		0	
清掃費	6,265,000		6,265,000		6,265,000	
機械整備費	0		0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	194,960		194,960		194,960	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	903,040	0	903,040	0	903,040	
事業所税	0		0		0	
消費税	903,040		903,040		903,040	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	20,500,000	0	20,500,000	0	20,500,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	250,000	0	250,000	0	250,000
自主事業 収支	△ 250,000	0	△ 250,000	0	△ 250,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市片倉三枚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,563,000		29,563,000		29,563,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		2,772,500		2,772,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	2,772,500		2,772,500		2,772,500	
収入合計	38,291,500	0	38,291,500	0	38,291,500	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	0	32,689,000	
本俸	32,689,000		32,689,000		32,689,000	
社会保険料	0		0		0	
手当計	0		0		0	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	0		0		0	
事務費	1,603,000	0	1,603,000	0	1,603,000	
旅費	0		0		0	
消耗品費	1,603,000		1,603,000		1,603,000	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	0		0		0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	0		0		0	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	0	1,190,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000		151,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000		309,000	予算：指定額
その他	0		0		0	
管理費	2,075,000	0	2,075,000	0	2,075,000	
光熱水費	0		0		0	
清掃費	1,775,000		1,775,000		1,775,000	
機械整備費	0		0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	608,500	0	608,500	0	608,500	
事業所税	0		0		0	
消費税	608,500		608,500		608,500	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	38,291,500	0	38,291,500	0	38,291,500	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	0	560,000	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	0	△ 560,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市片倉三枚地域ケアプラザ

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	15,238		15,238	25,290		25,290	83,771		83,771	8,405		8,405	23,198		23,198
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	収入合計(A)	15,238	0	15,238	25,290	0	25,290	83,771	0	83,771	8,405	0	8,405	23,198	0	23,198
支出	人件費	0		0	15,600		15,600	76,800		76,800	0		0	0		0
	事務費	0		0	1,176		1,176	16,518		16,518	0		0	0		0
	事業費	0		0	852		852	17,760		17,760	0		0	0		0
	管理費	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	10,118		10,118	0	0	0	960	0	960	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料	10,118		10,118	0		0	0		0	0		0	0		0
	減価償却費	0		0	0		0	960		960	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	支出合計(B)	10,118	0	10,118	17,628	0	17,628	112,038	0	112,038	0	0	0	0	0	0
	収支 (A) - (B)	5,120	0	5,120	7,662	0	7,662	-28,267	0	-28,267	8,405	0	8,405	23,198	0	23,198

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。